

第1編 現代社会の諸課題

第1章 地球環境を考える

2 地球環境問題への取り組み

教科書 p. 13～p. 16

国際的な取り組み

1. 1972年「かけがえのない地球」をスローガンに [1.] が開催され、「[2.]」と「国連国際行動計画」を採択した
中心的機関… [3.] (UNEP)
2. 1992年「[4.]」を基本理念とする [5.] (地球サミット) が開催され、行動計画「アジェンダ21」や環境保護の指針となる
「[6.]」が採択された
3. 環境問題と [7.]
技術開発などを積極的におこない、環境保全に取り組む体制を先進工業国と工業化や開発を望む途上国との間でととのえていく努力が必要
先進国の主張⇒ [8.]
途上国の主張⇒ [9.]

持続可能な発展

1. 1987年国連総会提出の「[10.]」という報告書
⇒発展（開発）の多くが「持続不可能」になっていることを指摘
ア) 貧富格差の拡大, イ) 環境の荒廃, ウ) 将来世代存続の危機を招く
⇒持続可能な発展という理念が、世界の共通認識となる
2. 持続可能な発展の定義
ア) 先進国と途上国の現在世代が幸福実現に向けて協力
イ) 自然や動植物の存続をはかる
ウ) 将来世代の幸福追求を妨げない

温暖化防止への取り組み

1. 国連環境開発会議で温暖化を防止し、長期的な気候の安定化をはかる
[11.] が締結された
1997年温室効果ガスの排出量削減目標を京都議定書で定めたが、大きな成果をあげられず、2015年新たな枠組みとなる [12.] をCOP21で採択
2. CO₂の排出削減のために、化石燃料の使用を減らす必要がある
⇒ [13.] への転換を積極的に進める
⇒2030年までにその比率を少なくとも27%にすることを政策目標に

3. 化石燃料に依存した産業構造や生活スタイルからの脱却
[14.] …温室効果ガスの排出枠を売買する制度
[15.] (炭素税) …化石燃料の使用量に課す税金
4. [16.] の実現がいまや世界全体の課題

Think Globally, Act Locally!

1. 地球環境問題の多くは現代の生活スタイルと深く関係している
⇒環境倫理を踏まえた行動が求められている
2. 環境意識の高い市民の行動が企業や政府の環境対策を促進
環境に配慮した商品を選ぶ運動
⇒ [17.] 運動
自然環境を都市化や開発から守る運動
⇒ [18.]
価値ある自然環境や文化財を将来世代に引き継ぐ
⇒ [19.] 条約に基づく [19.] への登録
3. 行動を呼びかける国際的な標語
⇒ [20.]

理解力up!

1972年のはスウェーデンのストックホルムで、1992年のはブラジルのリオデジャネイロで開催された。

理解力up!

現在の途上国の多くは産業革命以来、先進国の植民地にされ経済発展が著しく遅れていた。途上国の主張は公害すらも経済発展のためには必要悪であるというもの。

ポイント

温室効果ガスの削減目標は1990年の排出量を基準とし、日本は排出量の6%、アメリカは7%、EUは8%を削減し、先進国全体で5.2%の削減をめざした。

ポイント

空欄17. 運動：環境負荷の少ない商品を選択する「緑の消費者」になろうと呼びかけたことにはじまる運動。

ポイント

空欄19. 条約は、1972年にユネスコで採択された。

問題演習（弱点克服のために）

問 地球環境問題への国際的な取り組みについての年表の空欄に、適語を入れよ。また、2001年にアメリカが京都議定書から離脱した主な理由を述べた次の文の空欄に適語を入

れよ。

1971	ラムサール条約（特に [1.] の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）採択
72	国連人間環境会議で「 [2.] 」採択 [3.] （UNEP）発足
73	ワシントン条約（絶滅のおそれのある野生動植物の種の [4.] に関する条約）採択
74	世界人口年。世界人口会議（ブカレスト）
77	国連砂漠化防止会議（ナイロビ）
82	国連海洋法条約採択
85	[5.] 保護のためのウィーン条約採択
87	オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書採択
89	[6.] の国境をこえる移動およびその処分の規制に関するバーゼル条約採択
90	モントリオール議定書第2回締約国会議（ロンドン。特定フロン，2000年までに全廃決定）
92	[7.] （リオデジャネイロ）で気候変動枠組（温暖化防止）条約，生物多様性条約，アジェンダ21など採択
92	モントリオール議定書第4回締約国会議（コペンハーゲン。特定フロン，1996年までに全廃決定）
94	[8.] 発効 [9.] 採択（パリ）
97	気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3。 [10.] 採択）
2001	アメリカ，京都議定書離脱表明
02	持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ。アジェンダ21の実施状況や新たな課題などの検証，今後の取り組みの強化をはかる）
05	京都議定書発効
10	生物多様性条約第10回締約国会議（COP10。名古屋議定書採択）
15	気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21。 [11.] 採択）

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____
5. _____ 6. _____ 7. _____ 8. _____
9. _____ 10. _____ 11. _____

◆アメリカが離脱した主な理由

京都議定書は、[12. _____] 防止のために2008年から2012年の間に、先進国に対して [13. _____] の排出量を [14. _____] 年に比して平均5.2%削減することを定めていた。[15. _____] には削減目標がなく、当時のアメリカのブッシュ政権は、アメリカの経済に悪影響があるとして離脱した。